

バスの路線再編検討中

市では、バスの路線について、市民の皆さんがより利用しやすいよう検討を行っています。今回は、市の路線バスの現状とバスの路線再編について、お知らせします。

問合せ 企画政策課 ☎33-4104

■市の現状

市では、平成18年から22年にかけて、路線バスの利用者が約3割減少し、路線バス維持のための市の財政負担が増加しました。

そのため、平成22年10月にバスの路線を抜本的に再編したところ、路線バスを含めた公共交通利用者が一時的に増加しましたが、近年は、利用者が再び減少している状況です。

そこで、市は、平成27年3月に「八代市地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」と記載）を策定し、市内の公共交通の問題点を整理するとともに、持続可能な交通体系を構築できるよう取り組んでいます。

■市における路線バスの問題点・課題

「網形成計画」では、バスの路線に関する主な問題点・課題として、次のような事柄が挙げられています。

- (1) 1便あたりの利用者数が2人未満の路線が存在する。
- (2) ※1平均乗車密度が1.0未満の路線が存在する。（※1：1kmあたりの平均利用者。1.0未満の場合、全く利用者がいない区間が存在することになる。）
- (3) 利用者が比較的少ない、市街地以外のエリアで複数のバスの路線が重複し、他の地域に比べてサービスが過剰な状態になっている区間がある。
- (4) 市街地やその周辺地域など、人口が顕著に集積しているエリアでも、駅やバス停から離れている「公共交通不便地域」が存在する。

再編の取り組みと考え方

取組内容	考え方
①公共交通ネットワークを維持し、再編します	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通のつながりを全体的に維持しつつ、重複区間の解消や需要が少ない区間の効率化を推進します。 ○将来も維持していくことが望ましい、幹線となる路線バスへ需要を集約し、生活を支える移動手段を確保します。
②公共交通不便地域を解消します	<ul style="list-style-type: none"> ○各地域の特性や需要に応じて、経路の変更や運行形態の変更、予約型乗合タクシーなどを含めた新たな公共交通サービスの導入により、公共交通不便地域を解消します。
③交通結節機能を強化します	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道、幹線となる路線バス、幹線を補完する路線バス、乗合タクシーなどのそれぞれの公共交通機関の役割を踏まえ、お互いの乗継地点における利用者の利便性を確保します。
④中心拠点における回遊機能を強化します	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地循環バスの運行頻度の向上や、需要に応じた経路の見直し、郊外からの路線バスとの接続時間の調整など、利便性をより一層向上させ、中心拠点における回遊機能を強化します。

市民の皆さんにとって、利用しやすい路線バスとなるよう、見直しを進めていますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

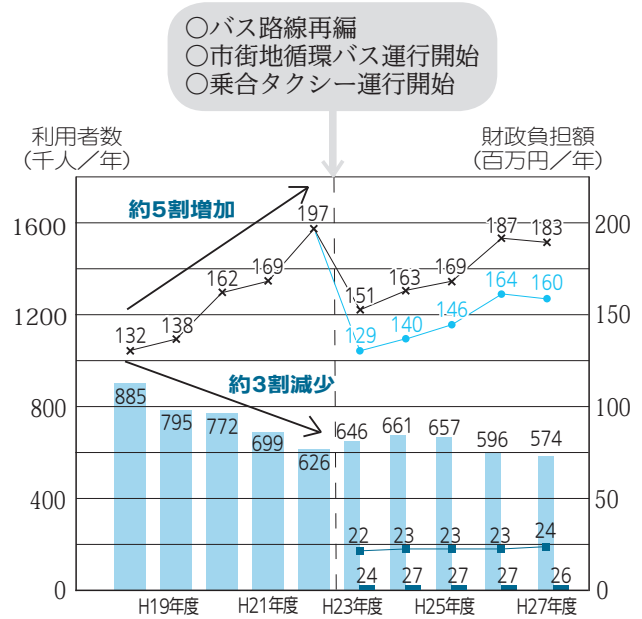
■再編の取り組みと考え方

市では、これらの問題点・課題を踏まえ、市内のバス路線を左表の考え方で見直しています。

線が重複し、他の地域に比べてサービスが過剰な状態になっている区間がある。

(4)市街地やその周辺地域など、人口が顕著に集積しているエリアでも、駅やバス停から離れている「公共交通不便地域」が存在する。

(その他の利便性や運賃に関する問題点・課題については市HPなどで「網形成計画」をご確認ください。)



- 乗合タクシー利用者数
- バス利用者数
- 路線バス財政負担額
- 乗合タクシー財政負担額
- ✕ 財政負担計